

環境配慮型設備の導入による 表面処理工程の品質・生産性強化

船舶修理の錆や塗装を落とす工程を、砂を吹き付けて研磨するサンドブラストという方法で行っている。この方法では砂が周囲に飛散するため、品質、工程、コストや環境への影響が大きい。そこで砂を飛散させずに作業可能な設備を導入し、問題点の解決と生産性の強化を図る。



ショットブラスト装置

事業のきっかけや目的

弊社は船舶の修理を主たる事業としている。グラインダー等による手作業を余儀なくされてきた「船内・部品処理」にショットブラスト設備を導入し、また、サンドブラストでの処理が可能であった「船底処理」には新機能を持つサンドブラスト設備を導入することにより、作業工数を減らすとともに作業環境及び周辺環境への影響に取り組む必要があった。

事業の取り組み内容と成果

従来の装置にない新機能を持つサンドブラスト設備とショットブラスト設備の導入により、作業者のリモコン操作が可能となり、仕上がりの品質が向上した。また、作業工数の減少、作業環境及び周辺環境への改善を図ることができた。

事業化に向けての今後の取り組み

海を航行する船舶にとっては、錆の発生や塗装の劣化は避けられない問題です。今回は船舶修理において重要な磨きの工程に新装置を導入し、品質向上や作業効率アップを図りました。より良いサービスの提供により、多くのお客様に喜んでいただきたいと考えています。



装置へ圧縮空気を送るコンプレッサ



ショットブラストでは鉄粒を噴き付ける



錆や古い塗装の磨きに有効

S・U・Z・U・I・S・H・I・N

船舶のドクターとして

弊社は内航貨物船やフェリー貨客船の建造と造船業に大きく貢献してまいりました。あらゆる産業の国際化、高度情報化、技術革新が進む中、造船業も例外なく近代設備の導入、大幅なコスト削減、工期の短縮などのあらゆるニーズに応えていかなければなりません。120トンジブクレーン、2,000トン浮ドックなどの充実した設備のもとでの修繕など、船舶のドクターとしての道を固めつつ、創業以来の熱い情熱をもって無限の可能性に挑戦します。

企業 DATA

昭和5年の創業以来、数多くの船舶を建造し、世に送り出してきたが、平成12年以降は船舶修理の専門業として経営資源を集約し、技術力の向上とサービスの拡充に取り組んでいる。現在では県内外のお客様より駆け込みドクターとして広く親しまれている。



構内全景

事業者	山川造船鉄工株式会社
代表者	代表取締役 篠原 秀嗣
設立年月日	昭和17年7月18日
所在地等	〒891-0511 指宿市山川福元5763番地 TEL 0993-34-1131 FAX 0993-35-3162 E-mail info@yamakawasb.co.jp URL http://www.yamakawa-zousen.com/
資本金額	5,500万円
従業員	13名
業種	輸送用機械器具製造業